



項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	周辺地域の幹線道路を相互に連絡し、かつ、地域の骨格を形成する都市計画道路の整備の必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市計画道路を整備することで、周辺地域の交通混雑の緩和が図られ、有効性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	住環境の向上と交通の円滑化のため妥当性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	幹線道路と幹線道路とが連結されることにより、交通体系の効率性が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		都市計画道路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		工事、用地買収、補償	街路の整備	街路の整備
財源内訳	国庫支出金	34,705	8,580	10,548
	県支出金	0	0	0
	起債	32,000	6,000	7,700
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	10,531	8,147	936
事業費 (A)		77,236	22,727	19,184
執行率 (%)		87.81	94.70	99.92

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針	交通渋滞の緩和や住環境の向上のため、引き続き街路整備の推進に取り組みます。
課長コメント	都市計画道路を整備することにより、交通混雑の緩和を図り、地域の住環境の向上を目指します。